**病院前救護統括体制における統括指示医師**

**（以下民間メディカルディレクター）の役割と資格要件**

**１）病院前救護統括体制における民間メディカルディレクターの業務**

　いかなる救急救命士であっても救急救命処置を行う際には，民間MC医師による指示体制の確保と活動プロトコルの策定，事後検証や活動の記録保存，継続教育の実施など，消防機関の医療統括体制と同様にPDCA サイクルに基づく病院前救護統括体制を構築することが必要である。

以下に民間救命士を統括するメディカルディレクターの業務を列挙する。

**２）病院前救護統括体制にかかわる****民間メディカルディレクターの業務（例）**

a） 救急救命士法（平成３年法律第36 号）第44 条に規定される具体的指示

b） 救急現場及び搬送途上における傷病者の重症度・緊急度判断に関する助言

c） 救急現場及び搬送途上における傷病者の救急救命処置に関する助言

d） 傷病者収容時における医療機関の選定や医療機関への症状の説明に関する助言

e） 民間救命士の活動記録に対する事後検証と活動への改良・調整

f） 民間救命士の病院研修の実施とその評価

g） 民間救命士の現場活動の評価

h） 民間救命士の現場活動プロトコルの作成と定期的な見直し

i） 民間救命士への病院内医療統括体制等、救護救急体制の問題改善

j） 病院救急救命士の免職ならびに採用にかかわる問題

k） その他の救急救命士の活動にかかわる諸問題の解決

指

民間救命士を利活用する際にも、民間メディカルディレクターなどによる指示指導・助言体制の確保と、事後検証や活動プロトコルの策定、継続教育の実施などは病院前救護にかかわる民間メディカルディレクターの下、医師法や保助看法、さらに救急救命士法を準拠し，傷病者へのインフォームドコンセントのもとに救急救命処置が実施されることが望ましい。

救急救命士法によれば、救急救命士が病院（初寮室を除く）以外の場所で現場での特定行為を実施することの違法性は棄却されているものの、質の担保のない無秩序な救急救命活動は、法的な問題ばかりでなく、市民への信頼を失い、救急救命士界全体のマイナスとなる。それ故**病院前救護統括体制におけるメディカルディレクターによるメディカルコントロール体制**は日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本医師会の監修のもと各指導省庁の協力仰ぎながら、オールジャパンの体制で担保されるものである。

消防非常備地域における救急活動は、地域メディカルコントロール体制や県メディカルコントロール体制の承認のもと指示・指導・事後検証・再教育体制がなされなければならない。また病院に雇用される救急救命士の活動についても県メディカルコントロール体制の承認のもと病院長、救急委員会、倫理委員会などの認証，医療統括体制の下に救急救命処置がなされることが望まれる。マスギャザリングのイベントや多数集客施設での活動には、**民間メディカルディレクターによる指示指導・検証体制が必要であり**地域メディカルコントロール協議会との十分な協議と実際の活動における綿密な連携を保つことが必要となる。民間メディカルディレクターは、メディカルコントロールに加え、多彩な環境での作業など、病院前の状況を十分に理解することが必要となる。

実際に、民間救命士の指示指導を行う民間メディカルディレクターには以下のような様々な状況が今後考えられる。

**統括医療体制における民間メディカルディレクターの資格要件**

**（下記の1-5のすべての要件を満たし、かつ民間統括指示医師講習を修了したものは統括指示医師として病院前救護統括指示機構への申請が可能である）**

1. **3年以上、民間MC医としての経験を有すること**

**（****統括医師メディカルディレクター認定申請書:様式１）**

**2．地域MC協議会に緊密な連携を構築できる医師であること**

**3．日本救急医学会の専門医であること**

**（所属学会情報申請書：様式２）**

**4**．**日本救急医学会の実施する「メディカルコントロール医師に対する研修」アドバンス講習の受講または講師、あるいは日本臨床救急医学会・厚生労働省・日本救急医療財団の行う「病院前救急医療体制にかかわる研修」などの受講または講義の経験があること**

**（メディカルコントロール研修修了証明書：様式３）**

**5．病院前救急医療のメディカルコントロールに対する以下のいずれかの経験の一つに該当すること。**

（病院前救急医療のメディカルコントロールに対する経歴書：様式４）

1. **メディカルコントロール協議会での役職あるいは業務についた経験を有すること**
2. **医師免許取得後の救急車同乗（１２時間以上）を通じて、救急隊員が現場及び搬送途上で行う業務を理解していること。**
3. **消防学校での救急隊員教育または、救急隊員を対象とする救急救命士養成所での救急救命士教育において、講義もしくはシミュレーションの指導経験を有すること。**
4. **病院前救急現場（ドクターカー・ドクターヘリ、病院救急車の同乗、その他の救急搬送などを含む）での医療経験があること。**
5. **消防機関の指示・指導医として委嘱され、オンライン・メディカルコントロールの直接的指示や事後検証・プロトコルの策定を行ったことがあること。**
6. **病院前救護の現場（地域包括医療での病院前活動や地域で行うスポーツイベントやマスギャザリングイベントなどの病院前救護や救護所など）での医療経験があること。**

(様式1)

民間メディカルディレクター（MD）医師認定（新規・更新）申請書

一般社団法人　民間救命士統括体制認定機構

代表理事　有賀　徹　殿

 記載日　 西暦　　　　　　年　　　月　　　日

（ フ リ ガ ナ ）

申 請 者 氏 名（自署） 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

生 年 月 日 西暦　　　　年　　　　月　　　　日（満　　　　歳）

最 終 学 歴 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　　年　　月卒業

医師国家資格免許

第　　　　　　　　　　号　西暦　　　　　年　　　月取得

現勤務施設名 　　　　　　　 　　　　　　　　　　　 科名

専門科名：

専門領域：

同 上 所 在 地 〒

TEL

E-mail

申請者 現住所 〒

TEL

（様式2）

**所　属　学　会　情　報　申　請　書**

日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本医師会、日本災害医学会、日本病院前診療医学会、日本航空医療学会、日本救急救命学会、日本救急看護学会、日本旅行学会、日本救護救急学会、全国救急救命士教育施設協議会のいずれかの会員であること。

所属学会情報

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

　　　　　　　　学会　会員番号　　　　　　号　認定医　　　　　　号　指導医　　　　　　　号

所属医師会情報

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　医師会　　　　会員番号　　　 　　　　　　　　　　　　　　　号

参考資料

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本医師会産業医番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

日本医師会学校医番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

スポーツ健康医番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　号

 (様式3)

**メディカルコントロール研修修了証明書**

日本救急医学会の実施する「メディカルコントロール医師に対する研修」の受講または講師、あるいは厚生労働省・日本救急医療財団などの行う「病院前救急医療体制にかかわる研修」などの受講または講義の経験があること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 受講した研修会名・（および研修会主催団体名） | 受講年月日・受講番号（あるいは指導年月日） |
| １ | 日本救急医療財団の行う「病院前救急医療体制における指導医師研修」の受講または講義 |  |
| ２ | 日本救急医学会や日本臨床救急医学会の実施するメディカルコントロール医師に対する講演や研修 |  |
| ３ |  |  |
| ４ |  | 〜 |

※上記の研修会の修了を証明できる写しを下記のスペースに張り付けてください。

のりしろ

（様式4）

病院前救急医療のメディカルコントロールに対する経歴書

次の病院前救急医療・救護のメディカルコントロールに対する経験のいずれか一つに該当すること。

該当するものにチェックを入れ、証明できる写しをのりしろ部分に添付すること。

1. メディカルコントロール協議会での役職あるいは業務についた経験を有すること
2. 医師免許取得後の救急車同乗（１２時間以上）を通じて、救急隊員が現場及び搬送途上で行う業務を理解していること。
3. 消防学校での救急隊員教育または、救急隊員を対象とする救急救命士養成所での救急救命士教育において、講義もしくはシミュレーションの指導経験を有すること。
4. 病院前救急現場（ドクターカー・ドクターヘリ、病院救急車の同乗、その他の救急搬送などを含む）での医療経験があること。
5. 消防機関の指示・指導医として委嘱され、オンライン・メディカルコントロールの直接的指示や事後検証・プロトコルの策定を行ったことがあること。
6. 病院前救護の現場（地域包括医療での病院前活動や地域で行うスポーツイベントやマスギャザリングイベントなどの病院前救護や救護所など）での医療経験があること。

| 勤務期間または活動期間 | メディカルコントロールに対する経歴 |
| --- | --- |
| （西暦） | （西暦） |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  | 年 |  | 月～ |  | 年 |  | 月 |  |
|  |  |
|  |  |